



## 2025年度 一般会計補正予算 総額60億400万円追加!

北海道議会は、6月17日～7月4日までの18日間の会期で第2回定例道議会が開催されました。

本定例会では、新しい正副議長を選出し、我が会派からは 梶谷大志副議長が選任されました。また、補正予算などの審議において、国の高校授業料の無償化拡充などに伴う教育支援事業費31億7千万円を追加する一般会計補正予算案など議案17件を提出しました。加えて、改定した「物価高緊急経済対策」として、国の国庫支出金と道の繰入金（財政調整基金）を合わせて28億3千万円が追加提案され、本定例会における対策関連総額は60億400万円となりました。

わたくしは、6月20日の代表格質問と同日の最終に本会議登壇し、①防災・減災対策、②交通・物流対策、③北方領土問題、④旧優生保護法、⑤特定外来生物対策、⑥エネルギー政策、⑦米の食品ロス対策及び流通政策、⑧本道の豊かな自然景観における行き過ぎた開発行為、⑨教育政策などに大別して、知事並びに所管部、教育長にそれぞれの見解を質しました。（右記及び裏面参照）

引き続き、私は自らの政治信条である【命を守る政策】を第一義に、本道の「食と農と環境」を守り抜く様々な取り組みに全力を尽くしてまいります。また、平素よりお声かけや叱咤激励を頂けるたくさんの方々へ深い感謝とお礼を申し上げます。

皆さま、いつも本当にありがとうございます。

暑さに向かいますが、この先も皆さまの【生の声】を頼りに、道議会議員としての活動を展開してまいります。



### わたくしの一般質問における内容について

#### 1. 防災・減災対策について

- ① 本道における地震・津波対策について
- ② 「北海道版避難所マニュアル」の改正について
- ③ 「半島防災」について
- ④ 原子力災害時の屋内避難及び通信環境対策について
- ⑤ 原子力災害時の医療確保対策について
- ⑥ 土砂災害に対する地域防災の取組について



#### 2. 交通・物流対策について

- ① 物流の「2024年問題」について
- ② JR貨物の安定的かつ安全な運行の確保について
- ③ 北海道新幹線の開業遅れについて
- ④ 地域公共交通の維持・存続について



#### 3. 北方領土問題について



#### 4. 旧優生保護法について

- ① 個別通知における実施時期、この先の「個別面会」などについて

#### 5. 特定外来生物対策について



#### 6. エネルギー対策について

- ① 泊原発の再稼働における知事の認識などについて  
(裏面に記載あり)

#### 7. 米の食品ロス対策及び流通政策について



#### 8. 本道の豊かな自然景観における行き過ぎた開発行為などについて (裏面に記載あり)



#### 9. 教育政策について

- ① 教員の確保について



日々の活動をSNSでも発信中です!



北海道議会「会議録」検索



清水たかひろホームページ



清水たかひろ Facebook



清水たかひろ Instagram

# 第2回定例道議会における「再質問」及び「再々質問」質疑概要

## 本道の豊かな自然景観における行き過ぎた開発行為などについて

## エネルギー対策について



### ●再質問

倶知安町の森林違法伐採において、地域住民の不安を解消するため今後、このような事案が発生しないよう未然防止の取り組みが重要だと考えるが、どのような対策を進めていくつもりなのか、知事の見解を伺う。

### ●再質問

泊原発の再稼働における判断は、道政の「最重要課題」。予断を持って申し上げる状況にないことなど「百も承知」である。そのため、幅広い知見を有する地質学の専門家などからヒアリングすべき。再度、知事の認識を伺う。

### ●知事再答弁

森林の機能回復に必要な植林など、事業者に対する指導を徹底するなど、道庁内の関係部局と倶知安町が連携し、必要な取組を進めてまいる。また、こうした事案の防止に向け、地域の実情に即した土地取引の規制の強化を国に要望するなど法令や条例のもと今後の抑止につながるよう取り組んでまいる。

### ●知事再答弁

泊発電所は、現在、規制委員会の審査が最終段階に入ったもの受け止めている。再稼働に関して、予断を持って申し上げる状況にはなく、国から理解要請が行われた場合には、道議会のご議論などを踏まえ適切に対応してまいる。

### ●再々質問

知事はこれまで、定例記者会見でも現行法令を遵守することが前提で、国の要望については触れなかった。この数日間何か状況の変化があったのか、それとも考えを改めたのか？国に要望することに「方針転換」した考え方を伺うとともに、地域の実情に即したものは、法改正などの制度を指しているのか。あるいは、取り締まりや啓発などの取り組みを指しているのか、もう一度、知事に伺う。

### ●再々質問

政府は、泊原発の再稼働に「立地自治体」の同意を求めることになり、知事に対しても見解を求められる。どのように「判断」するのか、道民の最大の関心事である。その判断に大きな責任が伴う。本道のトップリーダーとしての「責任」についてもう一度、知事の見解を伺う。

### ●知事再々答弁

指導に従わない事業者等も想定したより実効性のある対応が必要との問題意識で問われたため、引き続き、地域の実情に即した土地取引の規制強化を国に要望するなど、同様の事案の発生抑制の観点として、取り組んでまいる。

### ●知事再々答弁

泊発電所は、現在、規制委員会の審査が最終段階に入ったもの受け止めている。再稼働に関して、予断を持って申し上げる状況にはなく、国から理解要請が行われた場合には、道議会のご議論などを踏まえ適切に対応してまいる。

(再答弁の繰り返し)

## 写真で見る これまでの道政活動



▲北海道議会：第32期後期「正副議長選挙」



▲第2回定例道議会一般質問：教育政策について



▲手稲山地区：地すべり防止対策「現地調査」



▲第75回北海道植樹祭（函館市）



▲「交通・物流政策」など総合政策部への質疑（予算特別委員会）



▲「社会的養護自立支援拠点事業」など保健福祉部への質疑（予算特別委員会）



▲「包括外部監査」など総務部への質疑（予算特別委員会）



◀コメの安定供給について農政部への質疑（農政委員会）



◀コメの安定供給及び流通政策について農政部への質疑（農政委員会）

## 清水敬弘道政事務所

〒006-0022

札幌市手稲区手稲本町2条4丁目1-5 緑稜館

TEL:011-213-8888 FAX:011-213-8841

E-mail: info@shimizu-takahiro.net

皆さまのご意見、地域の課題をお寄せください。

